



防災ニュース



自分の命・家族・財産は自分で守る！

東日本大震災、熊本地震や豪雨による土砂災害、河川氾濫、台風による被害など、今までに経験したことがない、大きな災害が起っています。

ご家庭での災害に対する備えはいかがでしょうか？ 災害時には日ごろしていることも満足にできなくなり、「日ごろしていないことは絶対にできない」とさえいわれています。

日ごろの「自助」による備えで被害を最小限にとどめる準備をしておきましょう！



平常時こそ災害への備えを！



作っていますか？ 「我が家のセーフティゾーン」

安全ゾーンとは

「転倒落下物の少ない、閉じ込められない場所」

●安全ゾーンというのは、転倒落下物の少ない閉じ込められない場所です。家の中で、安全ゾーンを作っておきましょう。

揺れが始まった時、2 階以上だったら、揺れている最中に階段を駆け下りるほうが危ない。部屋から出て、閉じ込められない階段のすぐそばに行って、揺れが収まるのを待ち、揺れが収まってから階段で避難しましょう。

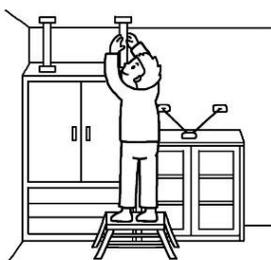
●揺れを感じたら、玄関を開けて、脱出口を確保し、直ちに安全ゾーンに移動すること。これを家族で話し合っておきましょう！

●安全ゾーンは、比較的落下物が少なく、出入り口に近い玄関がおすすめです。



家具の転倒防止対策

阪神淡路大震災時に、建物の中でけがをした人家具の転倒・落下によるもの(49%)、ガラスの飛散によるもの(29%)で、実に3/4の人たちが家具の転倒やガラス飛散で被害を受けています。

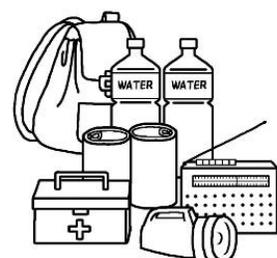


家具をしっかり留めて、ガラスの飛散防止対策を施せば、下敷きになってけがをしたり、室内が散乱状態のために逃げ遅れることも防ぐことができます。

非常食や水の備蓄

少なくとも
家族の7日分

「ローリングストック法」→食べながら備える
備蓄した食品を消費した分だけ買い足していく方法です。備蓄した食品を普段の食卓にのせるなら私たちもできそうですね。



備蓄の目安は一週間分！
毎月一回「非常食を食べる日」を決め、食べれば買い足して補充すると無駄なく備蓄ができます。

明神2丁目「防災勉強会」を開催しました！(H29.5.27)

よりきめ細やかな「顔の見える関係づくり」を目指し、支部別に勉強会を企画しました。初回は、明神2丁目支部が実施しました。「家具転倒防止策」、「熊本地震に学ぶ」のDVD視聴の後、家具転倒防止の実演では、皆さん真剣に学ばれ、「自宅でも是非やってみたい」と積極的なご意見がありました。後半の懇親会では、同じ支部のご近所さん同士、和気あいあいと和やかな雰囲気の中、我が家の防災対策に花が咲いていました。



熱心にDVD視聴

☆お知らせ☆

次回「防災勉強会」は明神1丁目！
お誘いあわせの上ご参加下さい！

●平成29年10月28日(土)
10:00~12:00

●集会所にて



家具転倒防止の実演

「地域で顔の見える関係づくり」
ご自分にあった内容で、活動に参加してみませんか？

☆防災会委員☆

●防災会委員会への参加
毎月第3土曜日(19:00~)
集会所にて開催

「地域で顔の見える関係づくり」を目指し、美しヶ丘地域に合った防災行事の検討・実施、情報提供、啓発、勉強会などを行っています。防災会の決め事は、この委員会で全て決定しています。

☆メール登録会員☆

防災会にメール登録いただければ、防災行事等のお知らせを送ります。

(防災訓練、かまどベンチ製作、南幼稚園防災教室、防災お花見会、防災勉強会、応急手当講習会など)

☆協力員さん☆

●防災行事への参加
●防災ニュースの配布等
「各班1人以上の協力員さん」の登録を目標としています。

☆災害時の協力☆

災害発生時に、炊き出しなど、お手伝いいただける方、また、医師、看護師、介護士、土木建築関係、保育士などの専門職の方も登録にご協力ください。

ご協力いただける方は、お近くの防災会委員(総会資料に名簿掲載)、又は、集会所自治会事務担当(72-5976)までご連絡ください。